

障がい者福祉計画・障がい児福祉計画アンケート調査
(障害福祉サービス等事業所)

【結果報告書】

令和8年9月

芽室町

I 調査の概要

1 調査の目的

第8期芽室町障がい者福祉計画・第4期障がい児福祉計画の策定を行うに当たり、障害福祉サービス事業所等におけるサービス提供状況、利用者支援の課題、今後必要とされる支援体制等を把握し、今後の支援体制のあり方を検討するため調査を実施しました。

2 調査概要

■調査方法

調査票によるアンケート調査。郵送配布・アンケート用紙またはオンラインによる回収。

■調査期間

令和8年7月31日(金)～令和8年8月21日(金)

■調査対象事業所

管内の障害福祉サービス等事業所のうち、芽室町の利用者がいる事業所

対象	回答数	※回答内訳 アンケート用紙 47件 オンライン 39件
151事業所 (71法人)	86	

3 報告書の見方

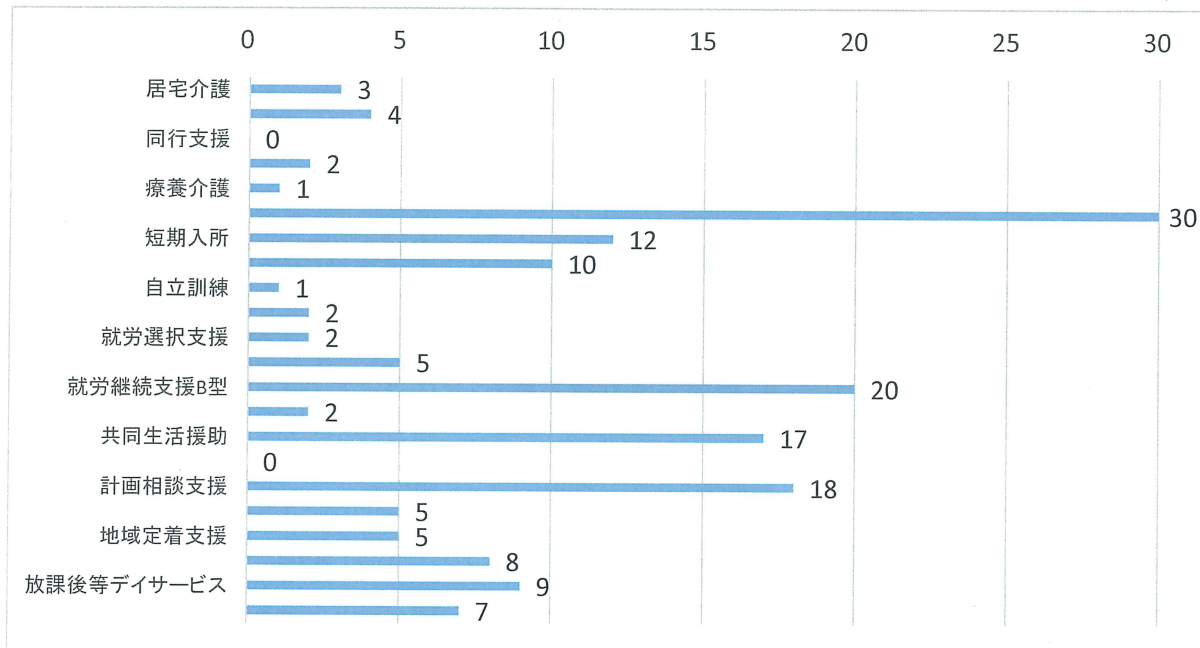
- 回答結果の割合「%」は回答数に対して、それぞれの割合を小数点以下第2位で四捨五入しています。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの割合を示しているため、合計が100%を超える場合があります。
- 「無回答」とあるものは、回答が示されていないものです。
- 本文中の設問や選択肢は簡略化している場合があります。

Ⅱ 調査結果(事業所)

■実施しているサービスと、今後3年間のニーズの見込み

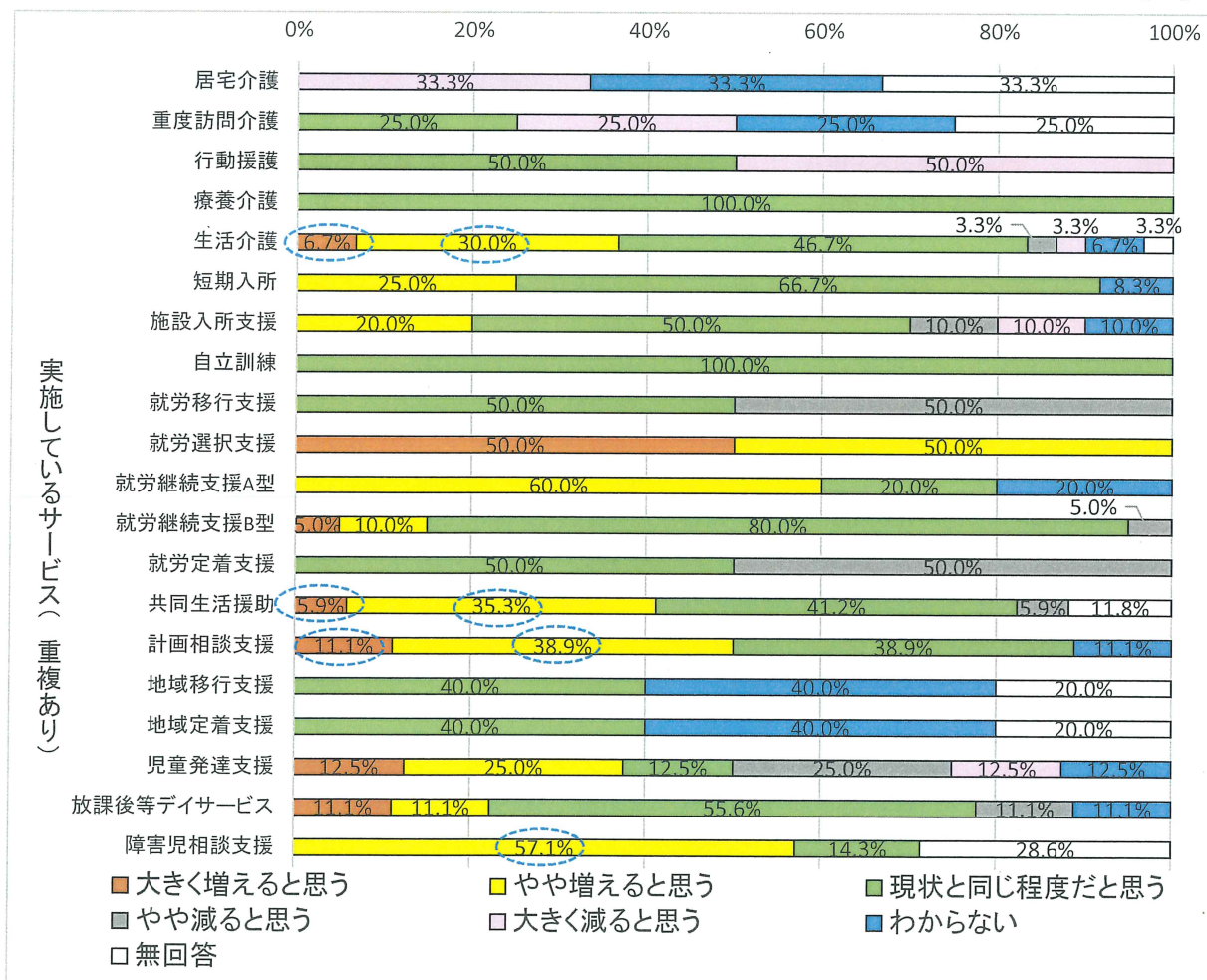
2-1 実施しているサービス(障害福祉サービス)

【件】 ※重複あり



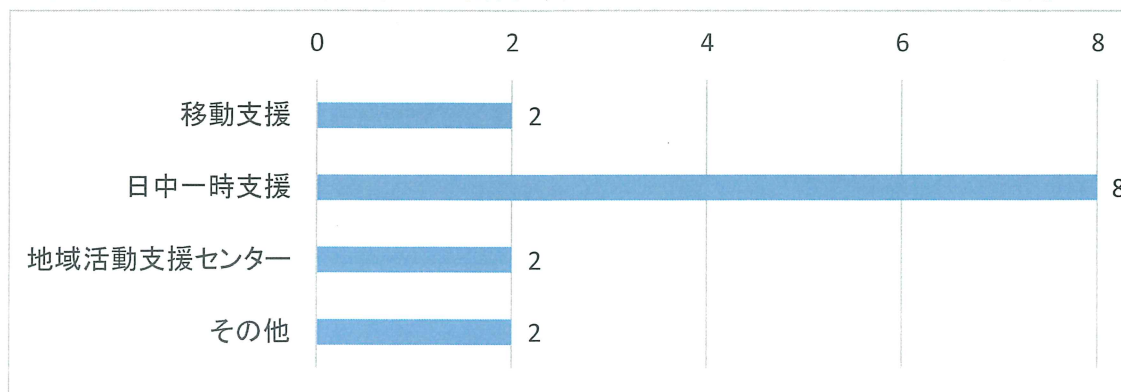
2-2 今後3年間の利用ニーズの見込み(障害福祉サービス)

【%】



3-1 実施しているサービス(地域生活支援事業)

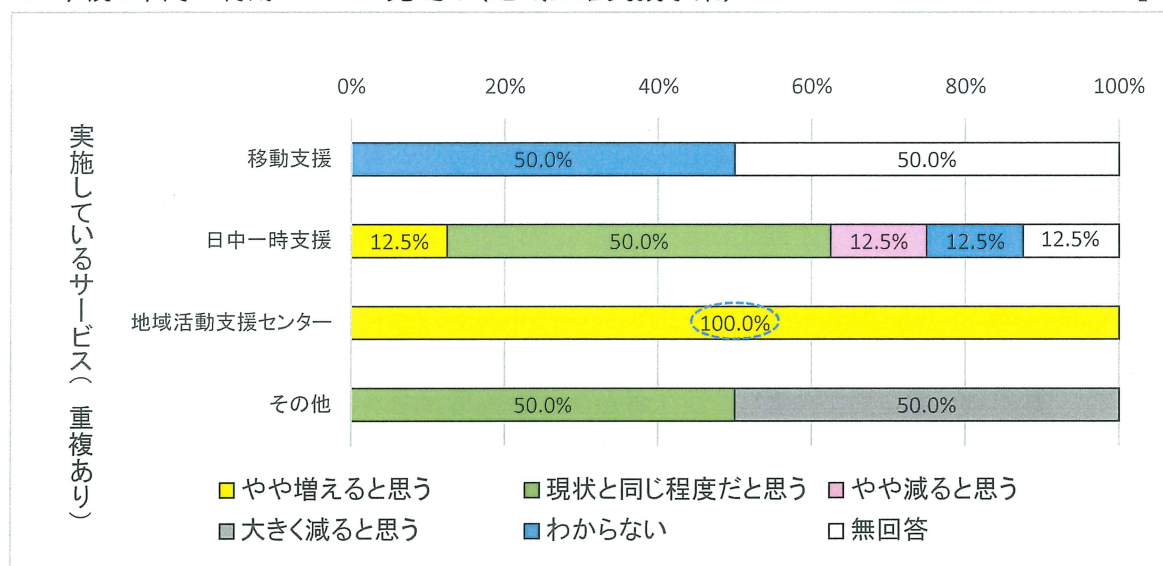
【件】 ※重複あり



その他:日常生活支援総合事業、地域密着型通所介護(※地域生活支援事業ではないが、回答のまま掲載)

3-2 今後3年間の利用ニーズの見込み(地域生活支援事業)

【%】



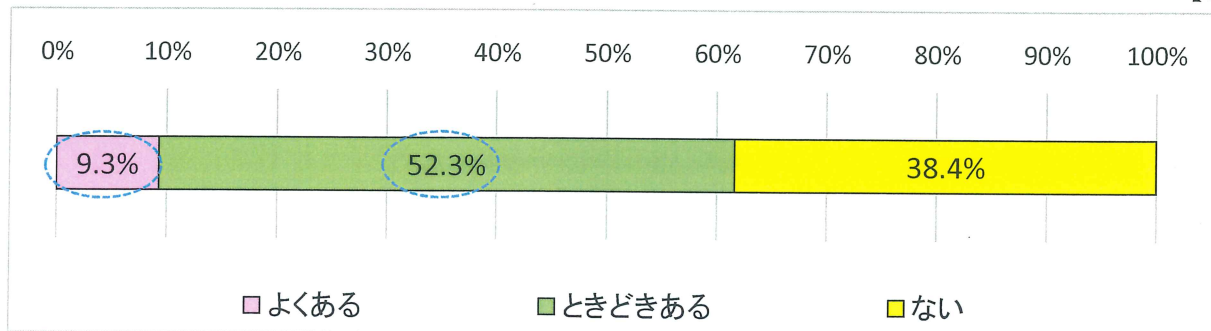
■実施しているサービスと今後3年間ニーズの見込みの回答からわかること

・生活介護や計画相談支援、障害児相談支援、共同生活援助、地域活動支援センターを実施している事業所において、「大きく増える」または「やや増える」という見通しをもつ事業所の割合が高い結果であり、町内の事業所でも同様の回答が多い傾向は見られました。

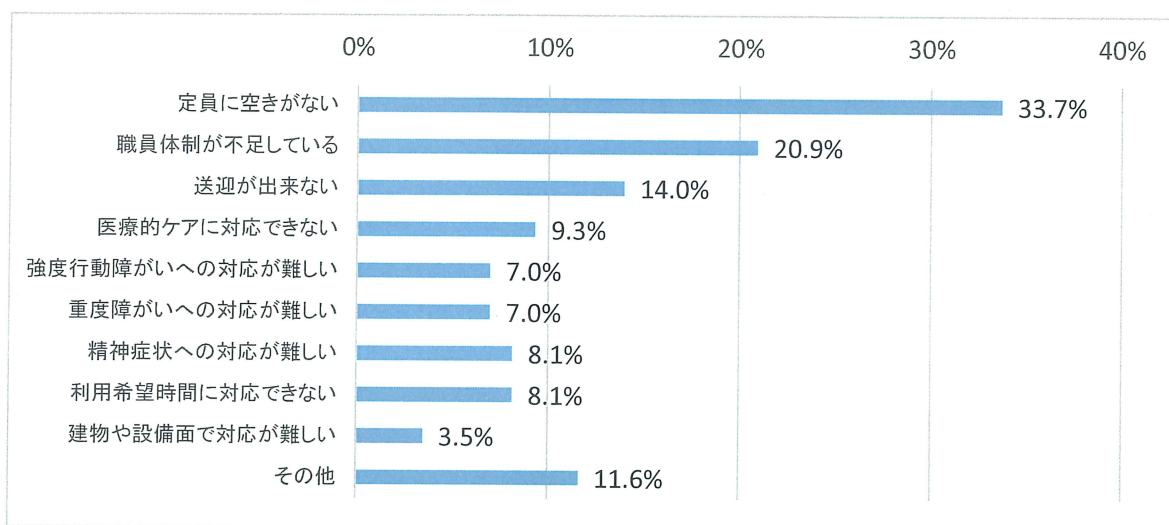
・児童発達支援のニーズについては、「やや増える」と「やや減る」という回答が同じ割合でしたが、町の事業所の回答は、「やや減る」と「大きく減る」という回答となっており、芽室町の児童発達支援のニーズは減ってくると考えていることが伺えます。放課後等デイサービスのニーズについては、「現状と変わらない」という回答が多かったですが、町内の事業所においては「現状と変わらない」「やや減る」という回答でした。

■サービス提供状況

4 直近1年間で、利用希望を断ったことはあるか 【%】



5 その理由 (あてはまるものすべて) 【%】

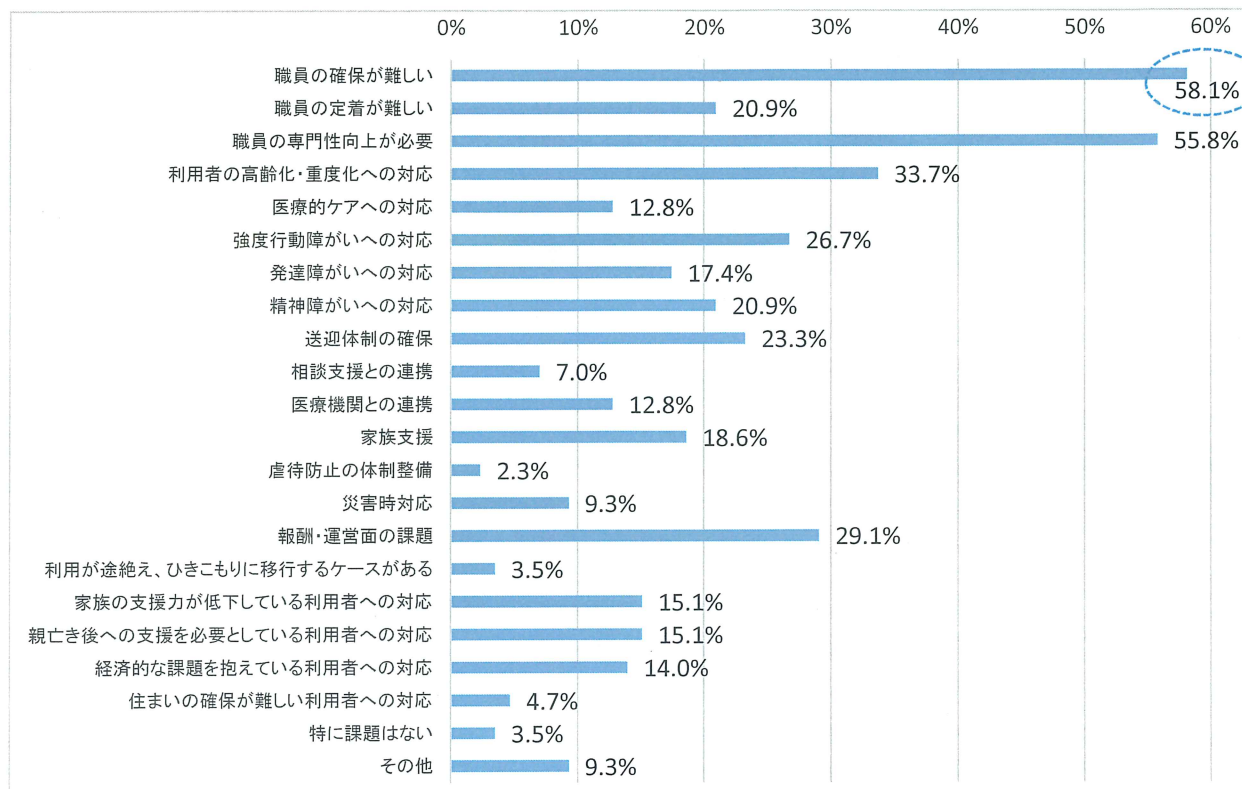


その他

- ・ 閉鎖予定のサービスの為。
- ・ 採用後2日出勤して、その後体調不良理由で2週間の欠勤。
- ・ 重症心身障がいには該当しない対象者の場合。
- ・ 現状芽室町内と帯広市のみ送迎を行っているがその他の町村への送迎は困難な状況。
- ・ 利用者さんにお支払する賃金の部分も含めて検討した結果、収支のバランスが確保できないため。
- ・ 障害支援区分6かつ重度の知的障害のある利用者様を中心に構成されているため、サービス内容等と照らし合わせたうえで、お問合せのご本人の能力や状態像に適したサービス・事業所をご案内する場合があります。
- ・ 閉鎖及び改築するGHがあったため断っています。
- ・ ご本人の障害特性。
- ・ 計画相談の役割以外を求められる場合。
- ・ 本人の状況と事業所の方針がマッチしない。

6 現在、サービス提供上で課題となっていること(あてはまるものすべて)

【%】



その他:

- ・ 特浴が車椅子浴のみの環境で、手足や体幹に強い拘縮がある利用者への対応が難しい。また、車椅子浴自体が古くなってきており、今後故障などで不具合が出た場合はサービスの提供の継続が出来なくなる点を危惧しています。
- ・ 教育機関との連携。各事業所との連携。
- ・ 他機関との定期的な連携。(2)
- ・ 利用者の数が少ない。困っている方はいないのかな？
- ・ 保護者が高齢の為、申請書類などの作成が困難なことが増えている。助言や確認をされることが多い。利用者の工賃の確保、仕事(作業)の確保。
- ・ 今年1月のオープンで利用者様の利用開始が3月からと日が浅いため、これから課題がでてくる、みえてくると思われます。
- ・ 利用者のカスハラ対応。

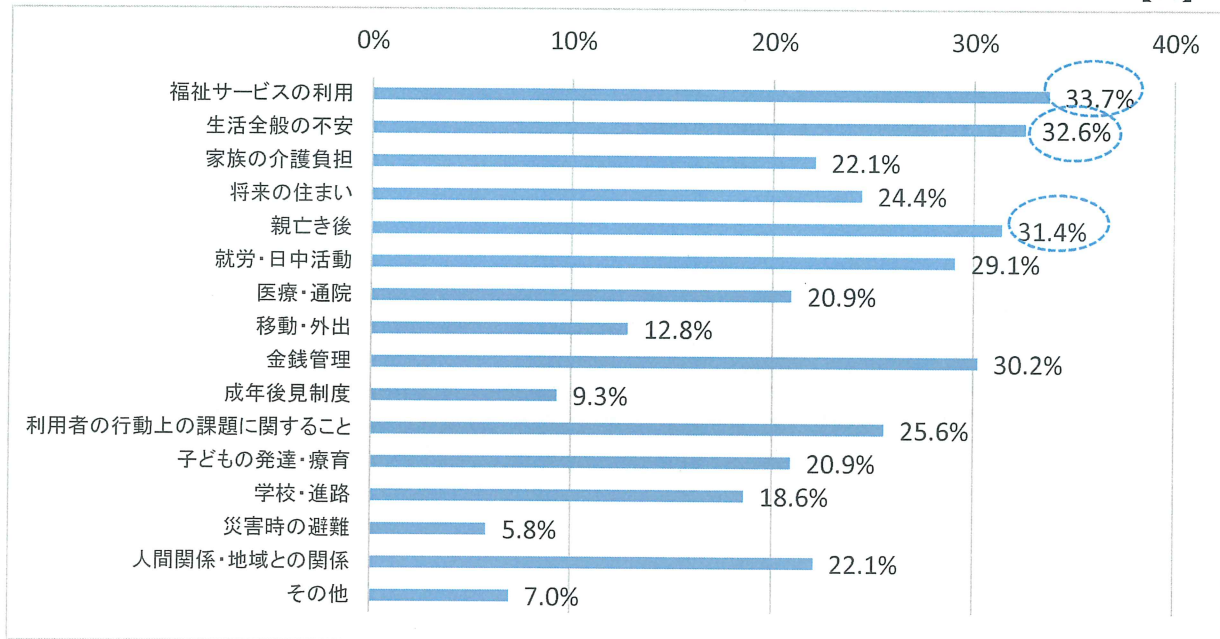
■ サービス提供状況の回答からわかること

・約6割の事業所が、直近1年間で利用希望を断った経験があるという結果でしたが、自由記載から、対象(重症心身障がい)や利用者の構成(障害支援区分)等もあるため、対象者に適した事業所を案内するケースも含まれています。定員の課題のほか、サービス提供上の課題にも挙がっている職員体制による理由も主なものとなっていることがわかりました。定員や送迎の課題は、町内の事業所の回答でも主な理由として挙げられていました。

■利用者の状況と支援課題

7 利用者・家族から多く寄せられる相談（あてはまるものすべて）

【%】

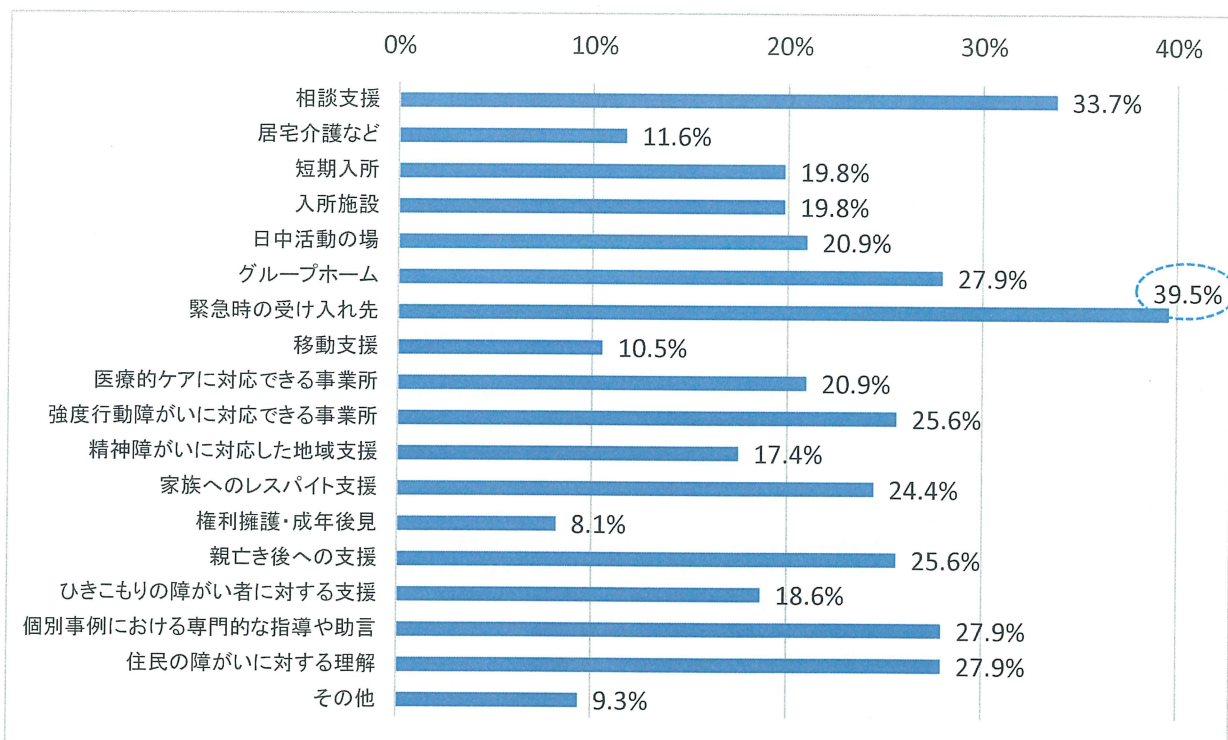


その他：

- ・生活上の相談先がわからずとの内容。
- ・作業についていけるのか？ 休まず出勤できるのか？
- ・医療行為が必要となり、施設にいられないというご相談が多いです。
- ・通勤サポートについて。
- ・無回答(2)

8 利用者の地域生活を支える上で、不足していると感じる支援（あてはまるものすべて）

【%】



その他:

- ・入浴支援。
- ・金銭管理ができない方、家庭が多く、経済的な課題に対して支援できる資源が必要。
- ・特にありません。
- ・地活、宿泊型自立訓練。
- ・入浴設備の整った施設(リフトや特殊浴槽)。
- ・伴走型の支援。
- ・高齢者対応。
- ・無回答(1)

■利用者の状況と支援課題の回答からわかること

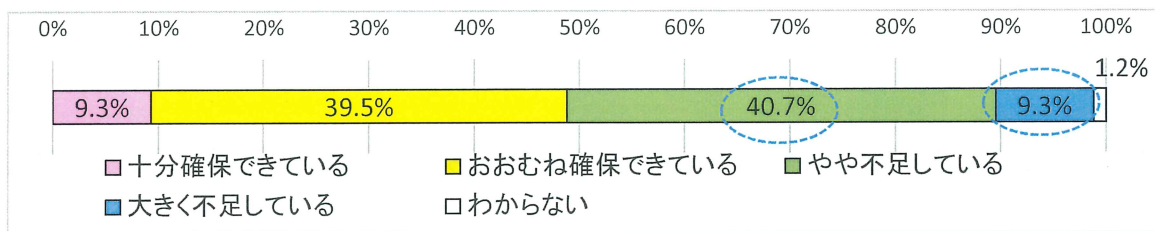
・利用者や家族からの相談として、「福祉サービスの利用」「生活全般の不安」「親亡き後」が上位に挙がり、町内事業所の回答も同様の傾向がみられ、現在進行形の生活課題から将来的な不安まで幅広い相談ごとがあることが示されました。不足していると感じる支援では「緊急時の受け入れ先」が最多で、「親亡き後」の問題と直結していると考えます。障がいのある方が地域で自立して生活する上で、金銭管理や就労や日中活動の相談も受けている事業所が多い結果でした。

・こどもに関する相談は、「こどもの発達・療育」「学校・進路」について多く寄せられていました。

■人材確保・職員体制

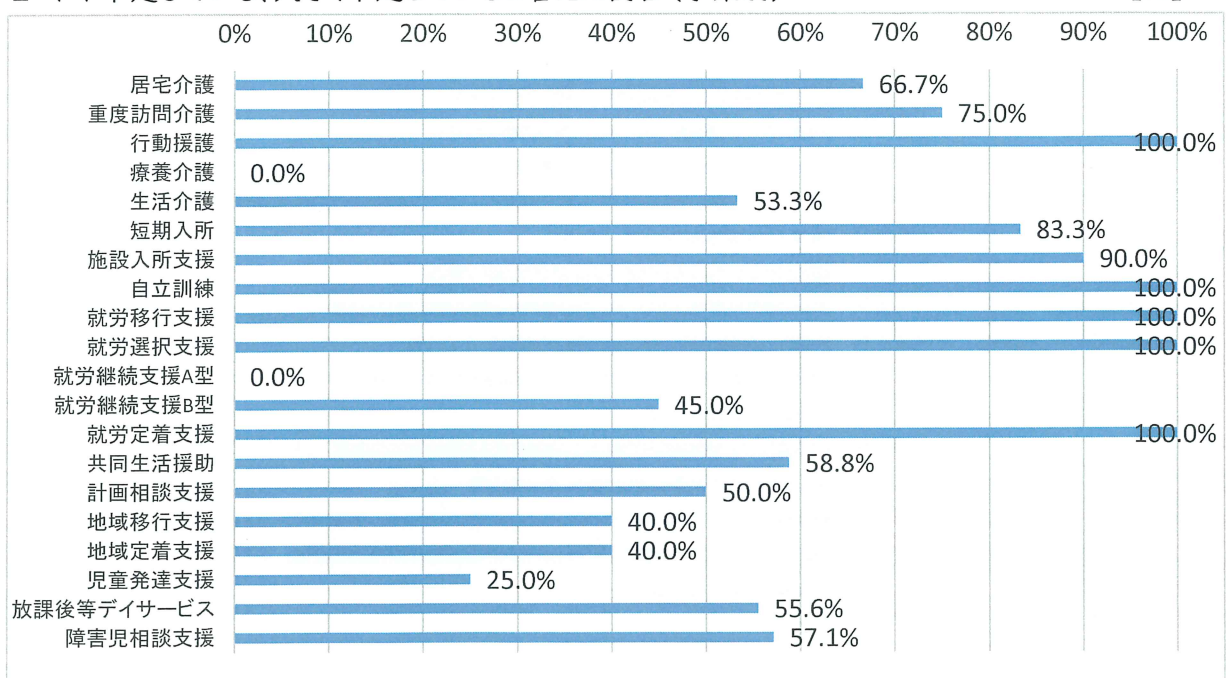
9-1 職員体制について

【%】



9-2 やや不足している、大きく不足していると答えた割合(事業別)

【%】



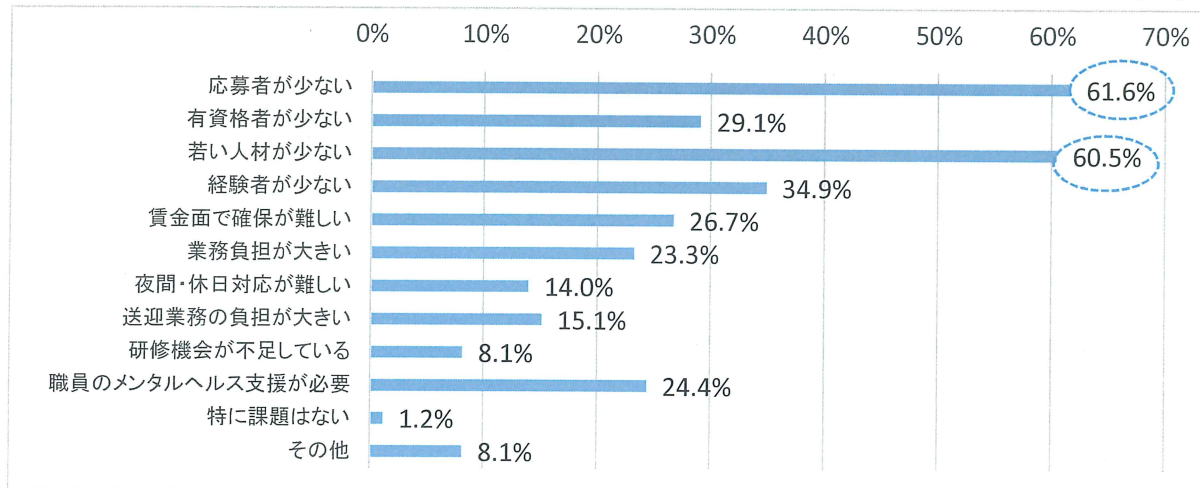
9-3 不足している職種

【件】

- ・ 生活支援員、支援員 ※「夜勤業務有」、「専門知識を有している生活支援員」を含む(21)
- ・ 相談支援専門員(5)
- ・ 介護員、介護職員(3)
- ・ 保育士(2)
- ・ 就労支援員(1)
- ・ 児童指導員(1)
- ・ 全て(1)
- ・ 事務職(4)
- ・ 世話人(3)
- ・ 介護福祉士(1)
- ・ 相談支援員(1)
- ・ 専門職(1)
- ・ 共同生活援助(1)
- ・ 看護師、看護職(4)
- ・ 運転手、送迎員(2)
- ・ サービス管理責任者(1)
- ・ ホームヘルパー(1)
- ・ 児童発達支援管理者(1)
- ・ 日勤者の人数(1)

10 人材確保や職員定着で課題となっていること(あてはまるものすべて)

【%】



その他:

- ・ 業務効率化の為ITC導入が必要となってきていますが継続的な導入には費用がかかり負担です。
- ・ 福祉(の仕事)の本質やおもしろみ、やりがい伝わっていない。
- ・ 若い男性職員に入社してほしい。職場の環境が変わる。小学生男子と体力を使った遊びができる。
- ・ 賃金が安い。
- ・ 僻地である。
- ・ シャドーワークが多く、本人以外に行政、病院や事業所からも求められるため精神的にハード。
- ・ 医療職の応募がない。

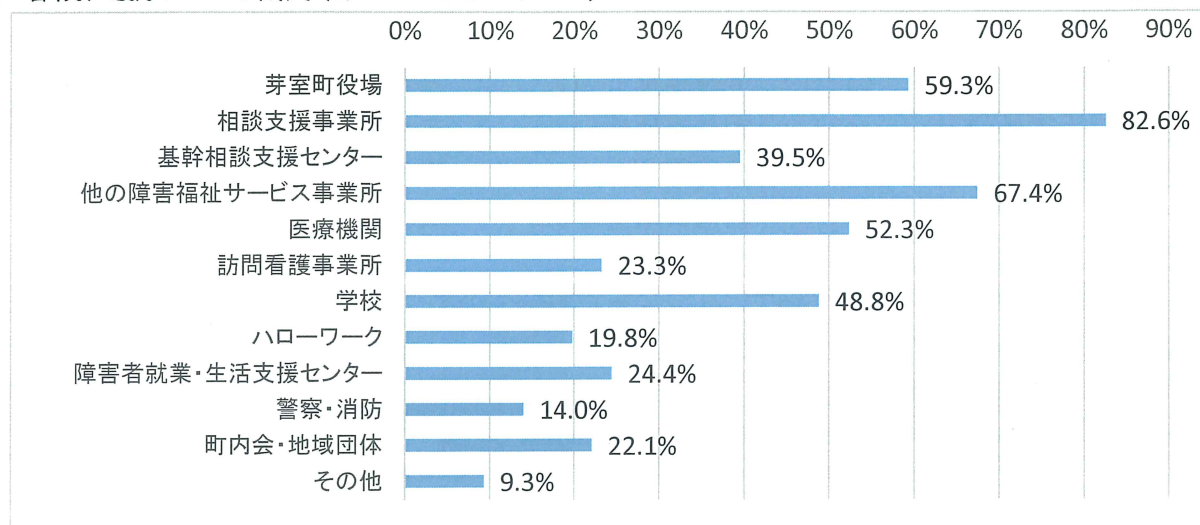
■人材確保・職員体制の回答からわかること

・ 人員が不足していると回答した事業所は、全体の約半数でした。町内事業所で見ると3割で、全体の比率よりは低いものの、不足している職種には支援員、運転手、保育士の回答がありました。人材確保・定着における主な要因は「応募者が少ない」「若い人材が少ない」という結果でした。人手不足の課題が利用のお断りを引き起こしている根本的な原因となっている可能性があり、検討が必要であると考えます。

■関係機関との連携

11 普段、連携している機関（あてはまるものすべて）

【%】

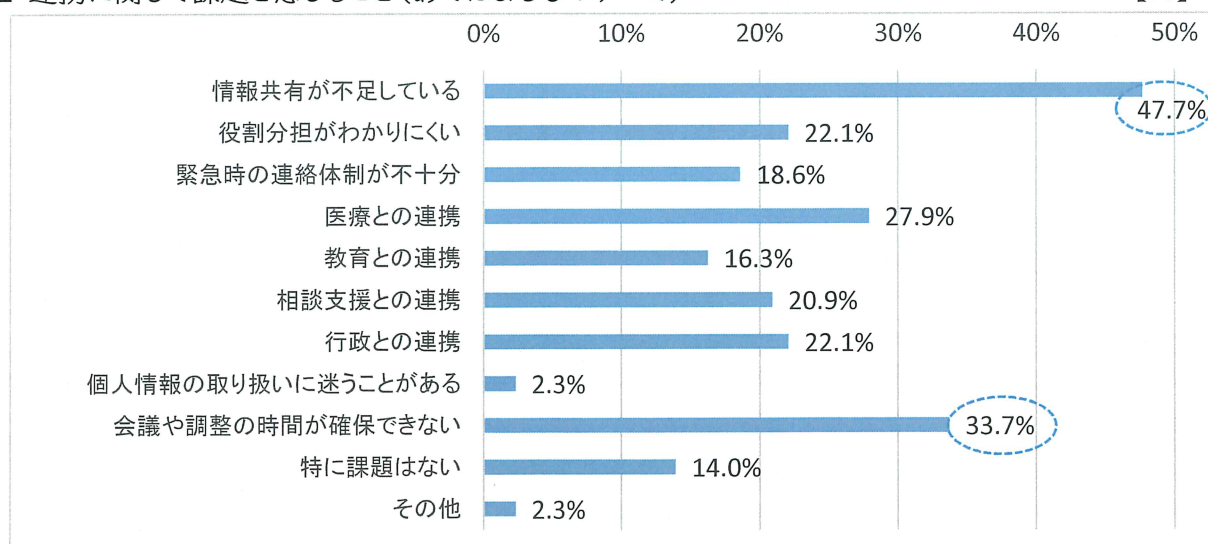


その他：

- ・ 保育所、幼稚園（2）
- ・ とかち機構（ジョブジョブとかちフェア）
- ・ 企業
- ・ 保健師
- ・ 介護保険ケアマネ
- ・ 町外の自治体（2）

12 連携に関して課題と感ずること（あてはまるものすべて）

【%】

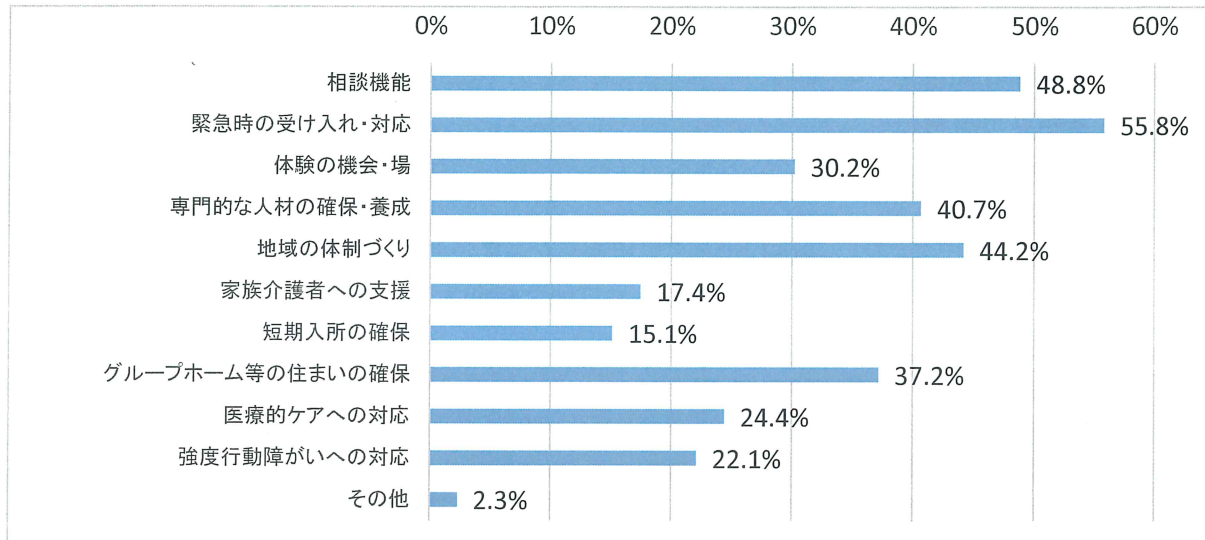


その他：

- ・ 今後感じるが増えていくと思います。
- ・ 先の重要なことまで話し合っ進めていくことができるが、その時間を負担していただくのが心苦しい。

13 地域生活拠点等の機能として、特に必要だと思うもの(○は3つまで)

【%】

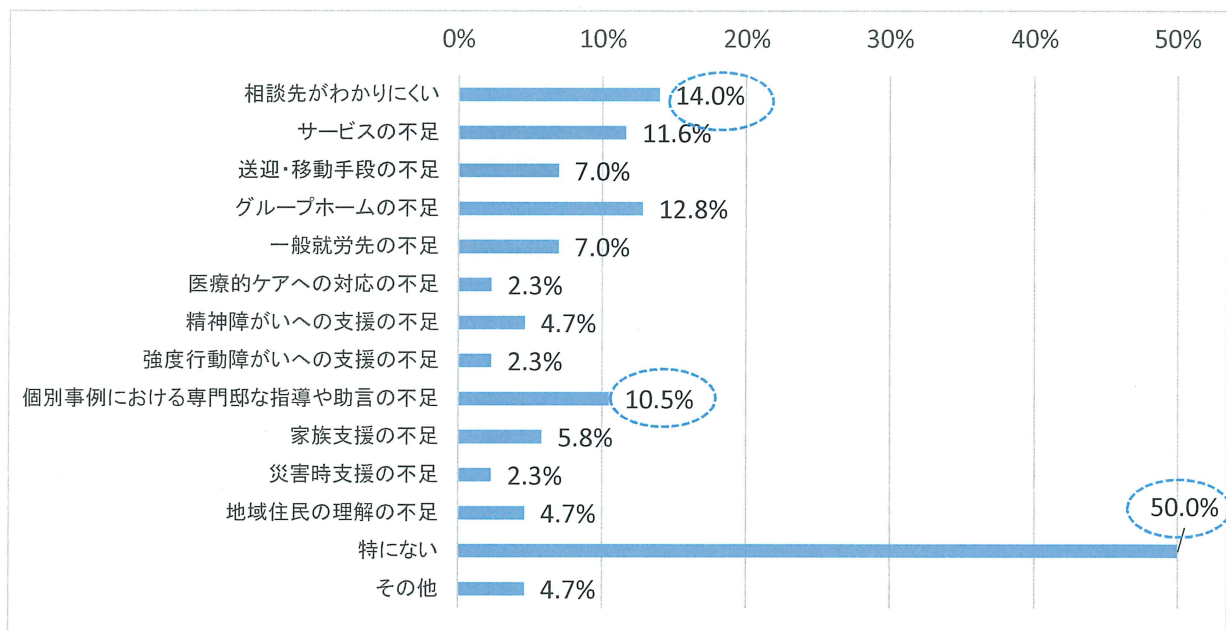


その他:

- ・現状で親亡き後問題を課題となっているが「親(80)・子(50)」より「親(90)・子(60)」問題へ高齢化している様子があり、生活環境の変化への対応がとても難しくなっている。相談機能や地域での把握と助言を強化し早期「親(70)・子(40)」での対応が必要であると感じます。
- ・情報提供が必要(何のサービスがどこにあり、どの様に利用できる等)。

14-1 芽室町の地域課題として、特に感じていること(○は3つまで)

【%】



その他:

- ・日中活動の場が少ない。また、隣町との連携をして送迎できるなどの工夫をしニーズにお答えできる体制。
- ・グループホーム以外の居住先、住居。
- ・日常生活用具で、札幌、帯広のように電源を加えて欲しい(発電機・ポータブルバッテリー・インバーター)。
- ・芽室町の事を理解していません。

14-2 サービスが不足していると答えた場合の具体例

- ・ 入所施設(3)
- ・ 高齢の障害者支援サービス。
- ・ 就労等の日中活動。
- ・ 短期入所
- ・ 訪問介護
- ・ 相談先があまり出てこない。以前よりどこに相談したら良いのか聞かれることがある。
- ・ 入浴できる生活介護事業所、誰でも受け入れ可能な短期入所。
- ・ 無回答(1)

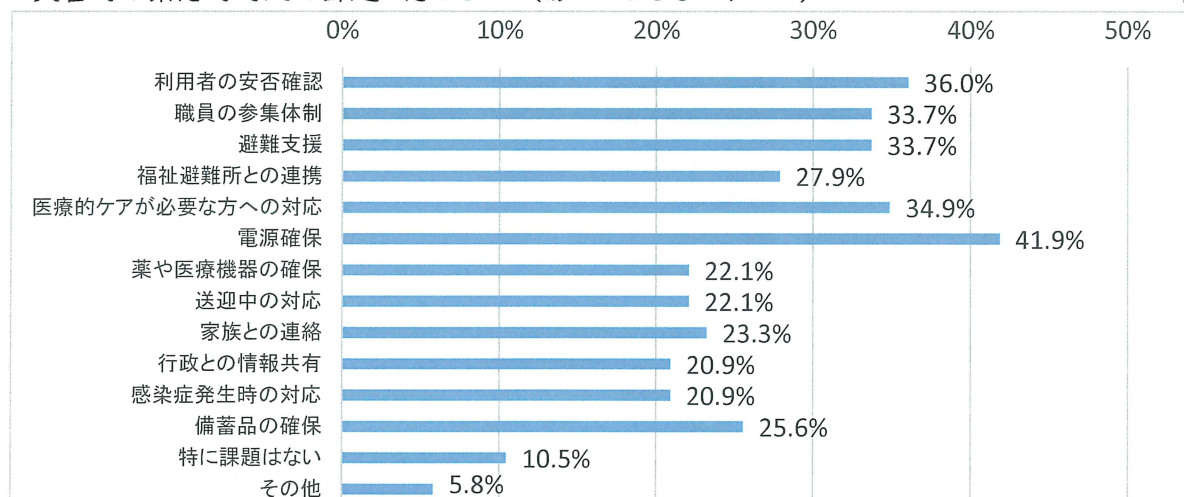
■ 関係機関との連携の回答からわかること

・相談支援事業所をはじめ、他の障害福祉サービス事業所、役場、医療機関、学校など、広く連携が図られている一方で、連携上の課題として「情報共有が不足している」という回答が多く、町内の事業所でも同様の結果でした。「会議や調整の時間が確保できない」という回答も多く、情報共有の不足を招く一因となっていると考えます。芽室町の地域課題として、特にないという回答が5割でしたが、町内の事業所からも「相談先がわかりにくい」「個別事例における専門的な指導や助言が不足している」という回答があり、行政や基幹相談支援センターの役割を事業所とも共有することや、医療・教育・福祉を横断したスムーズな情報共有の方策を検討する必要があることが読み取れます。

■ 災害・緊急時対応

15 災害時や緊急時対応で課題と感ずること(あてはまるものすべて)

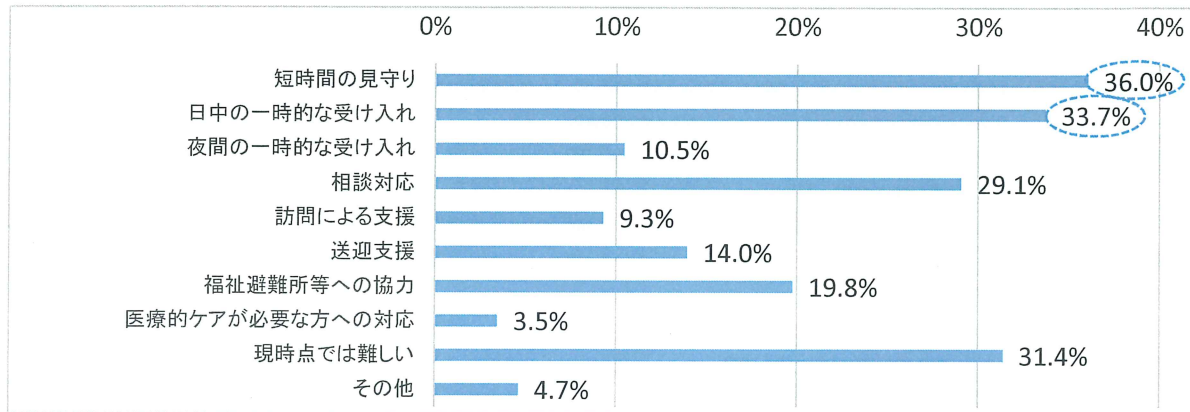
【%】



その他:

- ・ 個別避難計画作成。
- ・ 通年事業所のため昼、夜に対応が異なる・災害は地域差などもある為、想定するのが難しい。帯広市から通所している利用者もいるため状況把握が広範囲になる。芽室町以外のハザードマップ等も必要。
- ・ 緊急時に向けてのマニュアルの訓練等。職員の育成。
- ・ ①暑さ、寒さ対策②避難所の夜は人の気配がして寝られないのでストレスが溜まってくる。これを体験する機会や事実を伝えなければと思う。
- ・ 避難所に実際行くことが、障害特性(パニック・聴覚過敏・慣れない場所への不安等)から考えて現実的ではない。

16 緊急時の受け入れや対応について、事業所として対応可能なこと(あてはまるものすべて) 【%】



その他:

- ・ いざという時は受け入れ病院になると思うがマニュアル等の整備がこれからとなっている。
- ・ 行政の体制が整えば検討していきたい。
- ・ 援護物資等の提供。
- ・ 基本的に災害時は当社のグループホームへ応援に行く為、生活介護は営業しない。

■災害・緊急時対応の回答からわかること

・災害や緊急時の備えとして、「電源確保」「利用者の安否確認」「医療的ケアが必要な方への対応」「職員の参集体制」「避難支援」など、幅広い項目に対して事業所が課題意識を抱いていることが示されました。緊急時の受け入れや対応については、全体の傾向同様、町内の事業所でも「短期間の見守り」や「日中の一時的な受け入れ」が可能という回答が多い結果でした。こうした現状を踏まえ、本人や家族で担っていただく部分に加え、官民協働で役割分担の明確化等を含め、今後協議していく必要があると考えます。

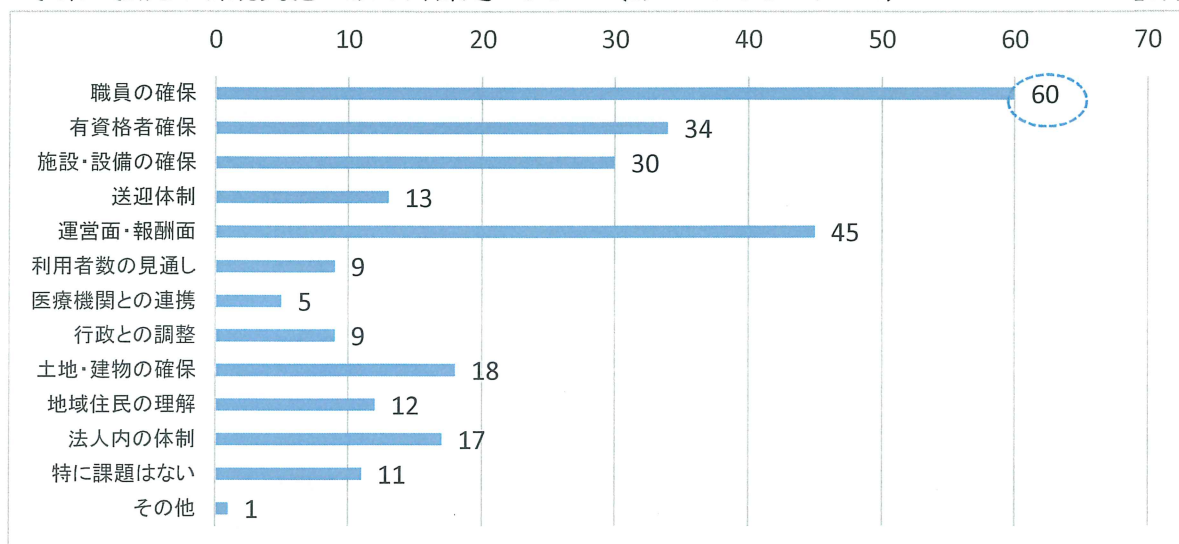
■今後の事業展開

17 今後3年間で、事業の拡充や新規実施を検討しているサービス

- ・GH日中活動型・土日対応可の検討。
- ・「就労選択支援」を活かした四方八方良しの地域連携。地域の資源(ヒト・モノ・コト)発掘と連携・共同体制の強化とニーズの掘り起こし。
- ・共同生活援助(3)
- ・就労継続支援B型(2)
- ・就労支援サービス
- ・現在、準備中であるセントラルキッチンや水耕栽培がスタートし拡充される予定。
- ・短期入所・グループホーム
- ・就労支援B型事業所

18 事業の拡充や新規実施にあたり、課題となること(あてはまるものすべて)

【件】



その他:新築の場合、建築費用の高騰など

■ 今後の事業展開の回答からわかること

・共同生活援助の増設や日中活動型の検討、就労系サービス等を模索している事業所もあることがわかりますが、「職員の確保」の壁があり、町内事業所においても同様の課題を感じる事業所が多い結果でした。サービス提供における課題や、人材確保、職員の定着と共通した課題が、ここでも見られた結果となりました。

Ⅲ 自由記載(事業所)

芽室町の障がい福祉施策やサービス提供体制について、ご意見・ご提案があればご記入ください

- ・ 芽室町だけではないですが、就労のA型事業所が増えていけばいいかなと思っています。
- ・ いつも手厚いご配慮に感謝です。一人ひとり違う生活にどう寄り添うかが必要だと思います。関わる側に違和感があっても、ご利用者にとっては「当たり前」の文化であることがよくあります。否定から入るのではなく、「なぜ」という感覚が皆さん持っていて、支援チーム全体で目の前の方生活スタイルを受け入れる姿勢があると嬉しいです。あとは、サービスの質だと思います。
- ・ 日中一時支援を実施していますが、コストに見合っていないので検討をお願いします。複数の事業所で担える体制があると、ニーズに対応できる体制になるのではないのでしょうか。
- ・ 利用者数が少ないと感じます。在宅で生活されている方の人数や生活状況などからニーズを把握したいです。居宅介護の認知度を高めて、障害のある方が芽室町で安心にて暮らせるようお手伝いしたいと思います。
- ・ 芽室町は、放課後デイなど障害児分野に力を入れているように思います。その子達が将来的に、親元を離れて、グループホームなどに住む選択された場合、既存のグループホームだけでは足りないと思いました。
- ・ いつもお疲れ様です。お世話になっております。特に無いですよ？良い方に進んでいるなって感じています。もうちょっと町内の潜在的にいる支援者に目を向けてほしいなとは思っています。特定の名前は出すことは許可をもらえないのですみません。
- ・ 他の市町村に比べ充実していると思います。
- ・ 芽室町出身の方を担当して5か月となります。サービス調整などの際、親身になって協力していただきありがとうございました。
- ・ いつもありがとうございます。お困りの方がいたらご相談下さい。
- ・ 現状芽室町については、福祉施策やサービス提供等に対する申請等も速やかに対応して頂いております。
- ・ 今後とも、よろしくお願いいたします。
- ・ 一部の職員の方だともいますが…もう少し…言い方をソフトにいただけると、連携も取りやすくなるおもいます…。
- ・ 相談窓口がわかりにくい。各事業所との連携が弱い。
- ・ このアンケートをもとに必要なサービス（ニーズ）を各事業所に知らせていただき、地域ニーズに対応した事業展開をしていきたいと考えます。
- ・ 特にありません。
- ・ ありません。
- ・ 特になし。
- ・ 特にありません。
- ・ 特にありません。
- ・ 特にありません。
- ・ 特にありません。
- ・ 特になし

